

美味しかったと大評判！ 大宮の正月餅！

大宮産のもち米「ひめのもち」を原料にした正月用のお餅はいかがでしたか？「大変おいしかった。もっとほしかった。」など、各地から高評価をいただきました。たくさんのご注文をいただき、約3週間かけて餅をつき、全国各地に発送させていただきました。

お餅は、日南町各地で商品化され、売られています。1年中製造し、米子等のスーパーなどで販売されている会社もあります。

昔のように各家庭で餅をつくという光景を見ることができなくなりました。正月餅として年末にお届けするようになって、約10年以上になります。年々注文が多くなり、手伝っていただく方々の確保も大変ですが、「美味しい。」とっていただくことを目標にこのたびも頑張りました。

是非、今後とも大宮のお餅をよろしくお願いいたします。



日南町これからの行事

- 2月 4日(日) 日南町卓球大会
- 2月16日(金)～3月31日 日南町の地質と化石展
- 2月18日(日) 日南町バトミントン大会
- 2月20日(火) 日南町長選挙・町議会議員補欠選挙
- 3月 9日(金) 日南中学校卒業式
- 3月16日(金) 日南小学校卒業式
- 3月23日(金) 日南町児童生徒海外派遣(～29日：シアトル)

編集・発行 大宮まちづくり協議会 総務部

《お問合せ》

大宮地域振興センター
〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911
Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaoomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: <http://blog.zige.jp/satoyamaoomiya/>
“じげプロ”よりお入りください



【編集デスク】

強い冬型の気圧配置が続き、大宮も1月に入って雪が降り続いた。こんなに長時間降り続いたのは、久しぶりである。／先月、15日に「西日本の『共助による地域除雪』を考える会議」に参加し、研修してきた。高齢化が進み、自力で除雪をすることが困難になり、共助除雪組織を構築して活動しておられる4地域の先進事例を拝聴した。大宮地域でもここ数年で必ず必要になるだろう。／今日も午前3時ごろから、除雪車が活動している。通勤時間には、除雪された道路を安心して通行できる。感謝、感謝である。(青)

謹賀新年

No.65

おおみや

ふるさとだより



秋原の初日の出



栗谷の初日の出



印賀樂樂福神社



菅沢神社

新年あけまして
おめでとうございます

旧年中は「ふるさとだより」
をご覧いただきありがとうございます
ございました。

本年も毎号がんばって制作
いたしますので、ご愛読いた
だきますようよろしくお願い
いたします。

平成三十年一月
大宮まち協 総務部

“幻の炭”復活に懸ける！



中海ケーブルテレビの『日野川物語』で“幻の炭”復活に懸けると題して、1月28日（日）午前8時（初回）から毎日5回～6回にわたり、121CHで放送されます。その昔、たたら製鉄で栄えた日南町で作られていた大宮炭。幻となった特産品に懸ける大宮人に迫る内容です。

今年で4年目を迎える炭作り。12月～3月までの4ヶ月間の操業です。1年目は2回失敗。へこたれずに2年目も挑戦。ようやく炭らしきものが、数回にわたって生産できるようになりました。そして、昨年12月21日に窯に火入れをして1月11日に取り出した大宮炭の、今シーズン最初の操業がテレビ取材となりました。素人集団とはいえ、研究熱心に取り組んでおられる姿は、感動そのものです。

町外にお住まいの方々には、中海テレビをご覧くださいことができませんが、ビデオ録画をしておきますので、大宮まちづくり協議会にお尋ねください。ぜひ番組をご覧ください。また、炭作りへのご協力もお願いいたします。

同期生会の事前案内や報告を掲載しませんか？

同期生会の案内や事後報告をこの紙面を利用して掲載されませんか？その際には、写真や記事をいただくと助かります。

今回は、古希を迎えられたみなさんの同期生会の様子が届きました。

大宮中学校第17期同期生会を平成29年10月26日・27日に伊勢で開催しました。男子と女子の比が1対2。女子の人数の多い「かかあ天下」のなかよし同級生です。関西、地元と交代で幹事をし、同期生会をよく行っています。年を重ね、2ヶ台台であった参加者も、今回は少人数ではありましたが、古希に集まり昔話に花が咲きました。つぎの同期生会を約束して散会しました。



古希を迎えた同期生のみなさん

まちづくり塾『ぎばんで』第2弾！

「大宮のキャッチコピーを考えよう！」開催

平成29年12月9日（土）、大宮まちづくり協議会総務部主催のまちづくり塾『ぎばんで』を開講しました。本年度第2弾で、“大宮のキャッチコピーを考えよう”というテーマで取り組みました。

鳥取大学地域学部筒井ゼミの協力によるワークショップが今回の塾の中心です。3回生3人の進行で、高校生から高齢者まで老若男女25名が5つの班に分かれ、将来の大宮のキャッチコピーについて様々な意見を出し合いました。

そして、「農業でつなぐ大宮」、「人口増で空き家解消、賑やかな大宮」、「伝統を守り、受け継ぐ明るい大宮」、「若い力で子どもの声あふれる里山大宮」、「発見・憧れ・君の名は大宮」という5つのキャッチコピーを完成させました。

これからは、大宮をキャッチコピーのようにするための方策を考え、実行する計画です。なお、このたび完成させたキャッチコピー等は、3月のまちづくり塾第3弾「鳥取大学筒井ゼミ発表会」において活用方法や今後のシナリオづくりについて研修する予定です。



老若男女25名が侃々諤々（かんかんがくがく）



3月の発表会が楽しみです。



まちづくり塾『ぎばんで』第2弾のワークショップを企画運営していただいた鳥取大学地域学部3回生の中野さん、内田さん、高田さんからは、「ワークショップでは頼りない進行、企画ではあったと思いますが、住民の皆さんが大変協力してくださり、本当に助かりました。皆さんが真剣に話し合っ、考えてくださったキャッチコピーは、とても素敵なものになったと思います。」「想像を超えた量のスローガンを皆さんが出してくださり、その場は大成功だったのではないかなと思う。」「10年以上続くむらおこし論で、『大宮の10年後を考える』という大きな役割の進行を私たちに任せてくださったこと、心から感謝します。」「思い返してもあの場は明るく温かで、交わす言葉が尽きることがありませんでした。大宮のみなさんの知恵と経験、そしてお互いに対する信頼に力強く支えられて、ワークショップは立ち上がっていたと思います。」という感想をいただきました。

来たる3月のまちづくり塾『ぎばんで』第3弾「鳥取大学筒井ゼミ発表会」には、多くの方々の参加をお待ちしています。